

# 子母澤寛から阿久悠まで

## —大衆の心と時代を捉える超絶表現の魅力—



「新選組始末記」「勝海舟」など幕末時代小説の第一人者・子母澤寛(1892～1968)、「北の宿から」「津軽海峡・冬景色」「UFO」「北の螢」など日本歌謡史を彩る大ヒット曲を送り出し続けた作詞家・小説家の阿久悠(1937～2007)。それぞれのジャンルで大衆の心を捉えた不朽の名作はいかに生まれ、その超絶表現の奥底にある批評意識と創作精神の核心とは何なのか。明治大学の先輩後輩でもある二人の文学者の魅力について、同大学阿久悠記念館運営委員長の吉田悦志さんが、風土論的視点を加えた独自のアプローチで解き明かします。

### 講師：吉田悦志

明治大学図書館長  
明治大学国際日本学部教授・博士(学術)



吉田悦志(よしだ えつし、1949～)  
1971年明治大学卒、同大学院博士課程単位取得退学。2008年埼玉大学にて博士(学術)取得。2008年より現職。日本近代文学。『上司小剣論』『きみに語る—近代日本の作家と作品』『事件「大逆」の思想と文学』『明治大学文人物語』『阿久悠 詞と人生』などの著書がある。教育研究のほか教務部長、副学長などを務め、2018年度より明治大学図書館長に就任。

4月28日(土)

14:00～15:30

当館地階講堂 無料

\*要申込・電話で

4月6日(金)9:00より受付 先着順、  
定員 80名



\*道民カレッジ【指定講座】ほっかいどう学コース 1単位

展覧会のご案内

特別展「没後50年 子母澤寛 無頼三代 蝦夷の夢」 2018年4月20日(金)～6月24日(日)

日本を代表する時代小説家で、『新選組始末記』、『勝海舟』、『座頭市物語』の生みの親・子母澤寛(1892～1968年)の全業績を紹介。  
開館時間:午前9時30分～午後5時 \*展示室入場は4時30分まで 月曜休館 ただし4月30日(月・祝)は開館し5月1日(火)は休館  
観覧料 一般700(560)円 高大生および65歳以上の方450(360)円 小中生300(240)円 ( )内は10名以上の団体料金

中島公園

北海道立文学館

〒064-0931 札幌市中央区中島公園1-4

TEL 011-511-7655 <http://www.h-bungaku.or.jp/>

- 地下鉄南北線中島公園駅(出口③)または幌平橋駅(出口①)下車徒歩6分
- 市電「中島公園通」停留所下車徒歩10分
- JRバス・中央バス「中島公園入り口」より徒歩4分